

新型コロナウイルス感染症調整本部医療部会（第6回）会議録概要

1 日時

令和2年8月12日（水） 19:30～20:43

2 場所

県庁 6階 大会議室

3 出席者

13名

4 主な意見等

(1) 新たな医療提供体制整備に係る要請について

- ・認知症などコロナウイルス以外のファクターでICUを使用する状況を見直す必要がある。

→検討しているところ。

(2) 「鹿児島県病床確保計画（案）」におけるフェーズダウンについて

- ・フェーズⅡからのダウンについて、入院患者数が3人未満の期間が「概ね1か月間」となっているが、「概ね2週間」が良いのではないか。

→フェーズⅡの状態は、即応病床45床で対応できることから、概ね2週間に修正したい。

- ・指標として「PCR検査の件数が一定数担保されている」とあるが、落ち着くと件数はかなり低くなるため、陽性率が低いことを指標（目安7%）とするとも考えられるのではないか。

→参考にしたい。

(3) 県新型コロナウイルス感染症対策組織図（案）について

- ・コロナ対策は長期戦となる。県DMAT調整本部の医師を増員して当番制にできないか。
- ・7月を乗り切れたのは、DMAT調整本部の尽力によるもの。システム化して、これからの長丁場に備えるべき。

→長期の体制維持に向けて検討したい。

- ・重症／中等症ネットワークは、介護・福祉施設班までを管轄するので、組織図に反映されたい。
- ・構成員が重複等する「医療部会」と「調整本部」、「DMAT調整チーム」と「DMAT調整本部」をそれぞれ統合してよいのではないか。

→検討したい。